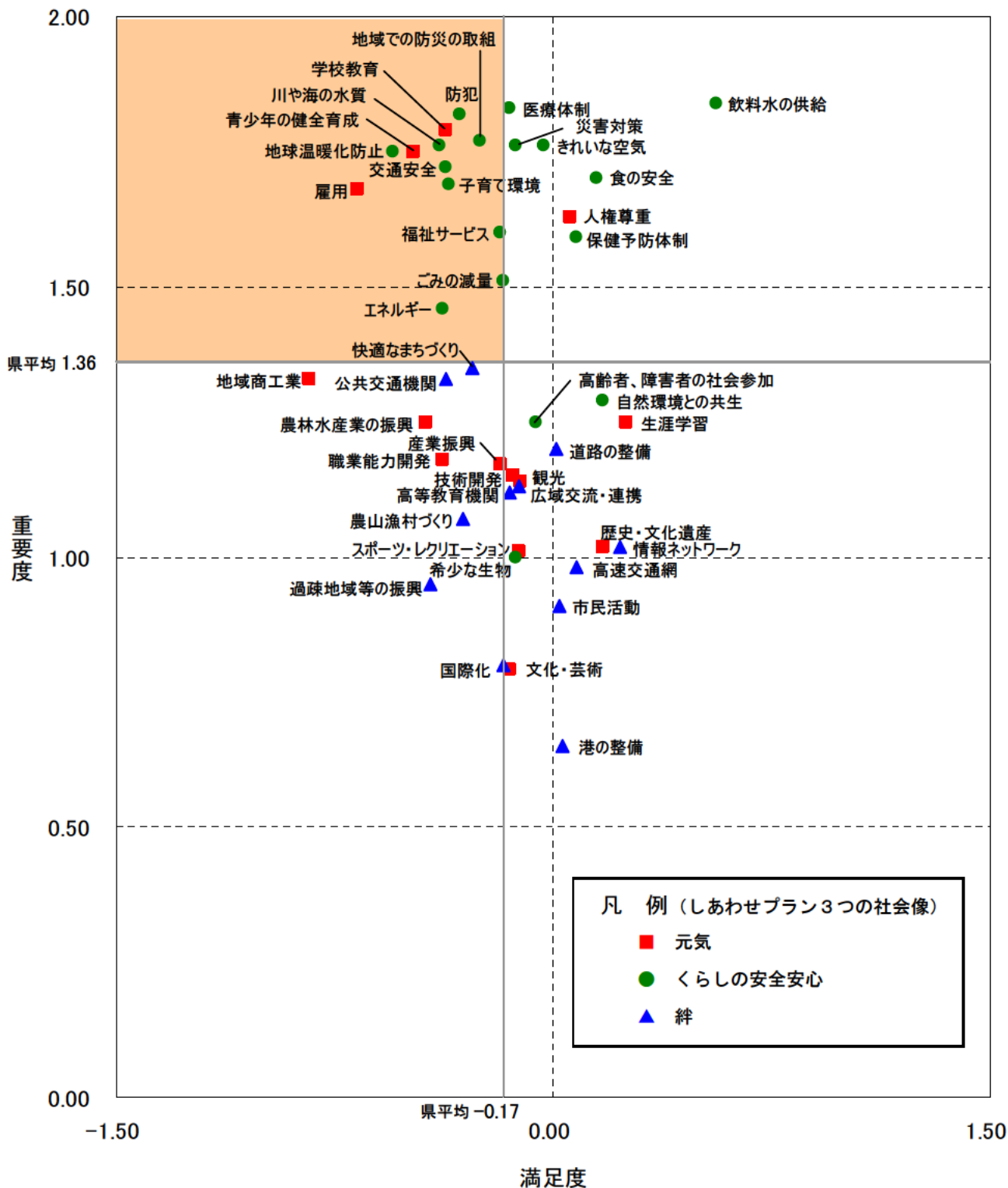


4. 重要度、満足度プロット図

(1) 重要度、満足度プロット図

図 重要度と満足度の関係（平成 19 年度）



図は縦軸に重要度、横軸に満足度をとって、各項目をプロットしたものである。この中で特に注目すべき部分は、重要度が高く満足度が低い項目であり、これらはグラフの左上方に位置している（Aゾーン）。これらの取組については特に推進や改善に対する住民のニーズが高いものである。

今回調査におけるニーズの高い項目（Aゾーンに位置する項目）は、「学校教育」「青少年の健全育成」「地域での防災の取組」「交通安全」「防犯」「子育て環境」「福祉サービス」「ごみの減量」「川や海の水質」「地球温暖化防止」「雇用」「エネルギー」の12項目があげられる。

Aゾーンに位置する項目を年齢別にみると、「福祉サービス」については、30～50歳代で、「学校教育」「地球温暖化防止」「雇用」「エネルギー」は60歳代以下で、それ以外の項目は20～50歳代で満足度が低いなどの特徴がみられる。（集計資料 p.4～91）

Aゾーンに位置する項目を地域別にみると、「学校教育」「地域での防災の取組」「交通安全」は伊賀地域で、「青少年の健全育成」については北勢地域、伊賀地域で、「子育て環境」は東紀州地域で、満足度がそれぞれ低くなっている。

また、「防犯」「福祉サービス」「ごみの減量」「川や海の水質」「地球温暖化防止」は東紀州地域で満足度が高く、北勢地域で満足度が低くなっている。

一方、「エネルギー」は、中南勢地域で満足度が高く、東紀州地域で満足度が低くなっている。

「県民しあわせプラン」のめざすべき三つの社会像別でみると、重要度について「くらしの安全安心」に関する18項目のうち15項目が平均値以上の位置にあげられており、県民の安全や安心に対する関心が非常に高いことがうかがえる。その中で、満足度が低い項目に、「交通安全」「防犯」「子育て環境」「川や海の水質」「地球温暖化防止」「エネルギー」などがあげられている。

「元気」に関する項目としては、「学校教育」「青少年の健全育成」「雇用」などのニーズが高くなっている。

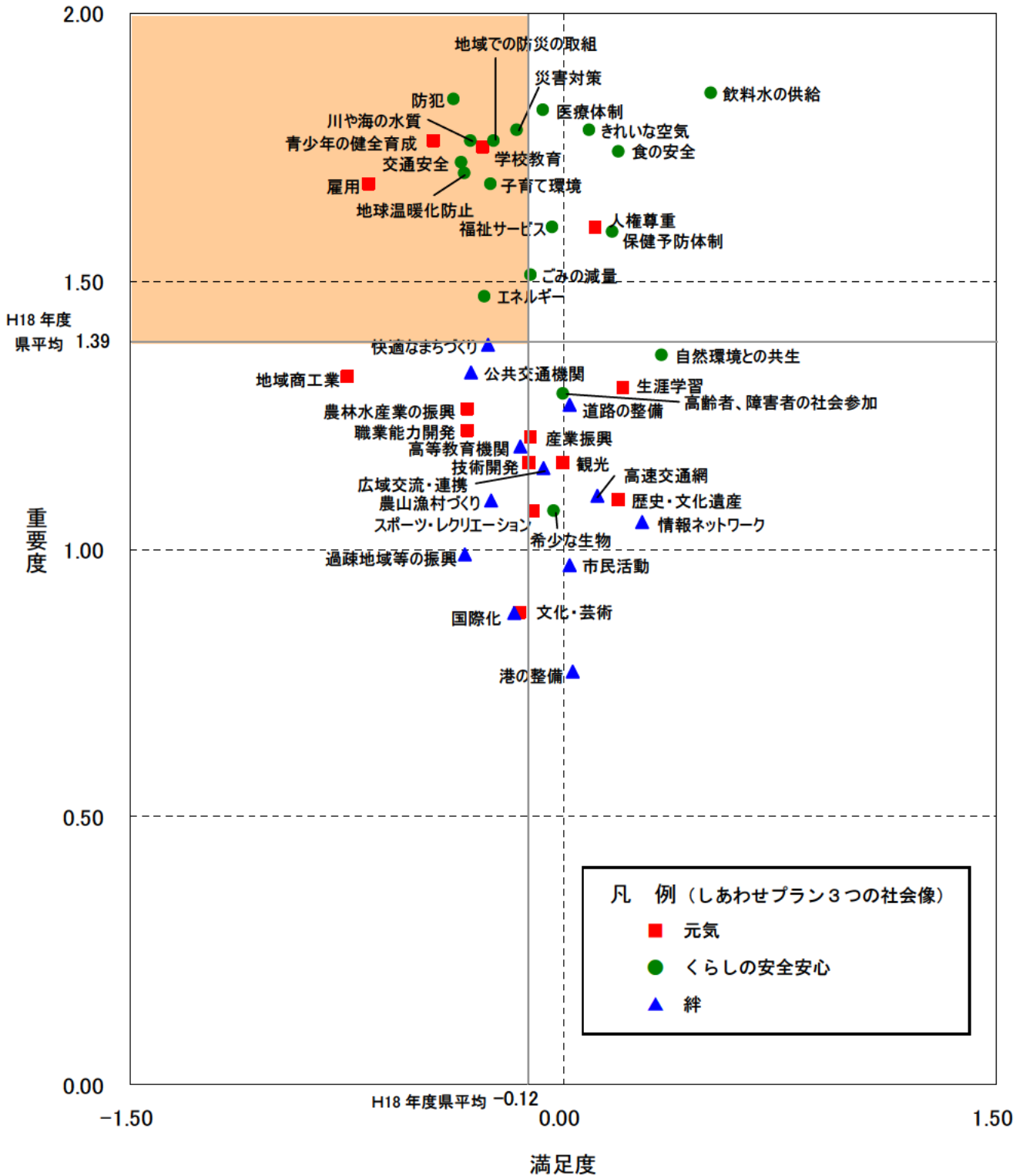
また、「人権尊重」「災害対策」「食の安全」「保健予防体制」「医療体制」「きれいな空気」「飲料水の供給」については、重要度、満足度ともに平均値以上であるBゾーンに位置しており、今後も着実に推進していく必要がある。

（2）平成18年度との比較

18年度と19年度との重要度、満足度の関係を比較すると、重要度平均値（今回：1.36、前回：1.39）が0.03ポイント低くなっており、満足度平均値（今回：-0.17、前回：-0.12）についても0.05ポイント低くなっている。

前回Aゾーンに位置していた「災害対策」がはずれているのに対し、新たに「福祉サービス」「ごみの減量」がニーズの高い項目としてあげられている。また、前回調査でニーズの高かった項目は今回調査においてもほぼ同様にあげられており、「学校教育」「青少年の健全育成」「地域での防災の取組」「交通安全」「防犯」「子育て環境」「川や海の水質」「地球温暖化防止」「雇用」「エネルギー」などについては、前回調査と同様に高いニーズを示している。重要度、満足度ともに平均以上であるBゾーンについては、「食の安全」「きれいな空気」「飲料水の供給」等、ほぼ前回と同じ項目があげられている。

図 重要度と満足度の関係（平成 18 年度）



(3) 重要度と満足度の関係の推移

平成 17 年度から 19 年度までの 3 年間の時系列分析を行った。以下は分析結果の概要である。

< 県全体の 3 年間の動き >

- ・「災害対策」等では、年々満足度が上がっている。
- ・「保健予防体制」「子育て環境」「医療体制」「福祉サービス」「自然環境との共生」「希少な生物」「きれいな空気」「川や海の水質」「地球温暖化防止」「過疎地域等の振興」等では、年々満足度が下がっている。
- ・「国際化」等では、重要度が年々下がる傾向にある。

< 地域別の 3 年間の動き > (集計資料 p 166 ~ 170)

【北勢地域】

- ・「生涯学習」「地域での防災の取組」「防犯」「雇用」等では、年々満足度が上がっている。
- ・「保健予防体制」「子育て環境」「福祉サービス」「自然環境との共生」「希少な生物」「ごみの減量」「きれいな空気」「川や海の水質」「地球温暖化防止」「公共交通機関」等では、年々満足度が下がっている。
- ・「地球温暖化防止」等では、年々重要度が上がる傾向にある。

【伊賀地域】

- ・「人権尊重」「歴史・文化遺産」「交通安全」「食の安全」「高齢者、障害者の社会参加」「子育て環境」「福祉サービス」「希少な生物」「ごみの減量」「きれいな空気」「地球温暖化防止」「農林水産業の振興」「観光」「広域交流・連携」「公共交通機関」「農山漁村づくり」「過疎地域等の振興」「エネルギー」等では、年々満足度が下がっている。
- ・「スポーツ・レクリエーション」「自然環境との共生」「国際化」等では、年々重要度が下がる傾向にある。

【中南勢地域】

- ・「災害対策」「港の整備」等では、年々満足度が上がっている。
- ・「人権尊重」「食の安全」「保健予防体制」「福祉サービス」「自然環境との共生」「きれいな空気」「地球温暖化防止」「過疎地域等の振興」等では、年々満足度が下がっている。
- ・「歴史・文化遺産」「希少な生物」「国際化」「港の整備」等では、年々重要度が下がる傾向にある。

【伊勢志摩地域】

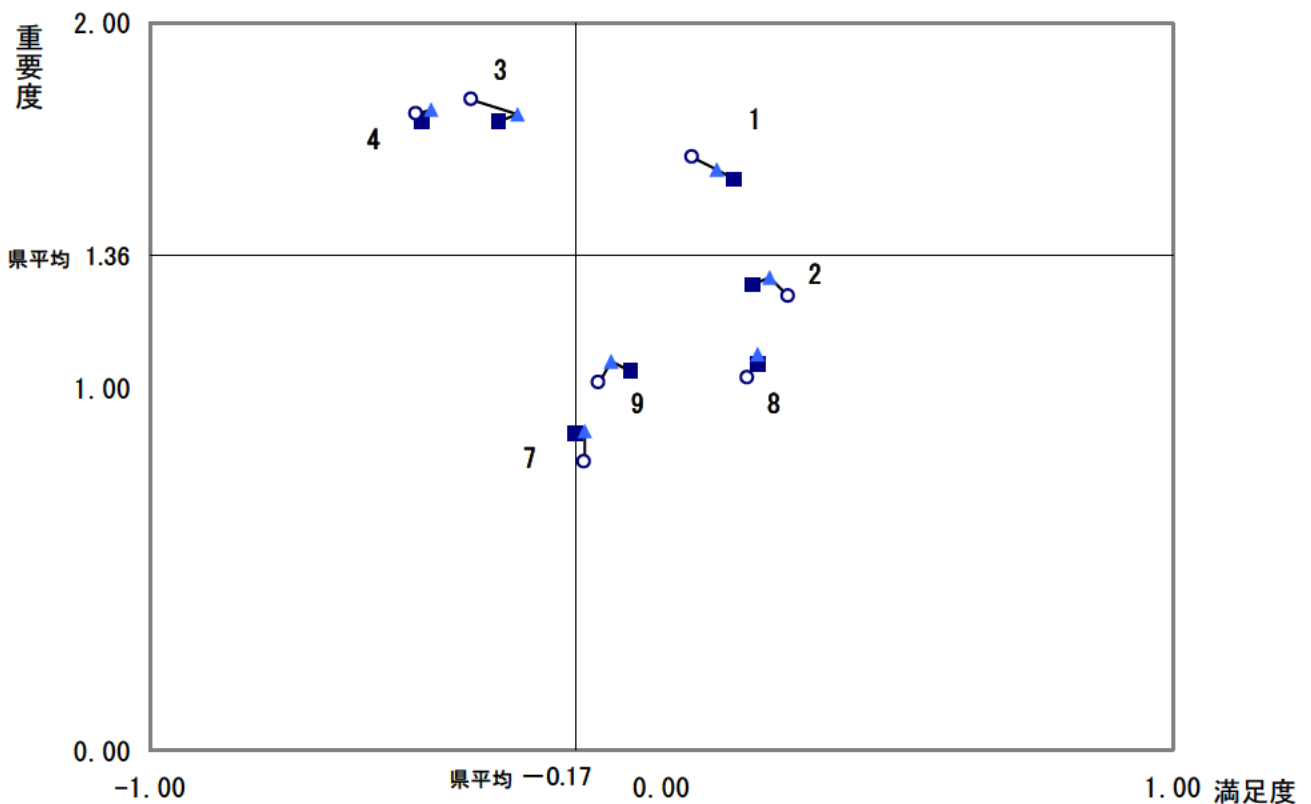
- ・「災害対策」「防犯」「産業振興」では、年々満足度が上がっている。
- ・「市民活動」「保健予防体制」「医療体制」等では、年々満足度が下がっている。
- ・「人権尊重」「学校教育」等では、年々重要度が上がる傾向にある。
- ・「文化・芸術」「国際化」「高速交通網」「港の整備」等では、年々重要度が下がる傾向にある。

【東紀州地域】

- ・「文化・芸術」「地域での防災の取組」「災害対策」「情報ネットワーク」「道路の整備」「公共交通機関」等では、年々満足度が上がっている。
- ・「高齢者、障害者の社会参加」「福祉サービス」「自然環境との共生」「きれいな空気」「地球温暖化防止」等では、年々満足度が下がっている。

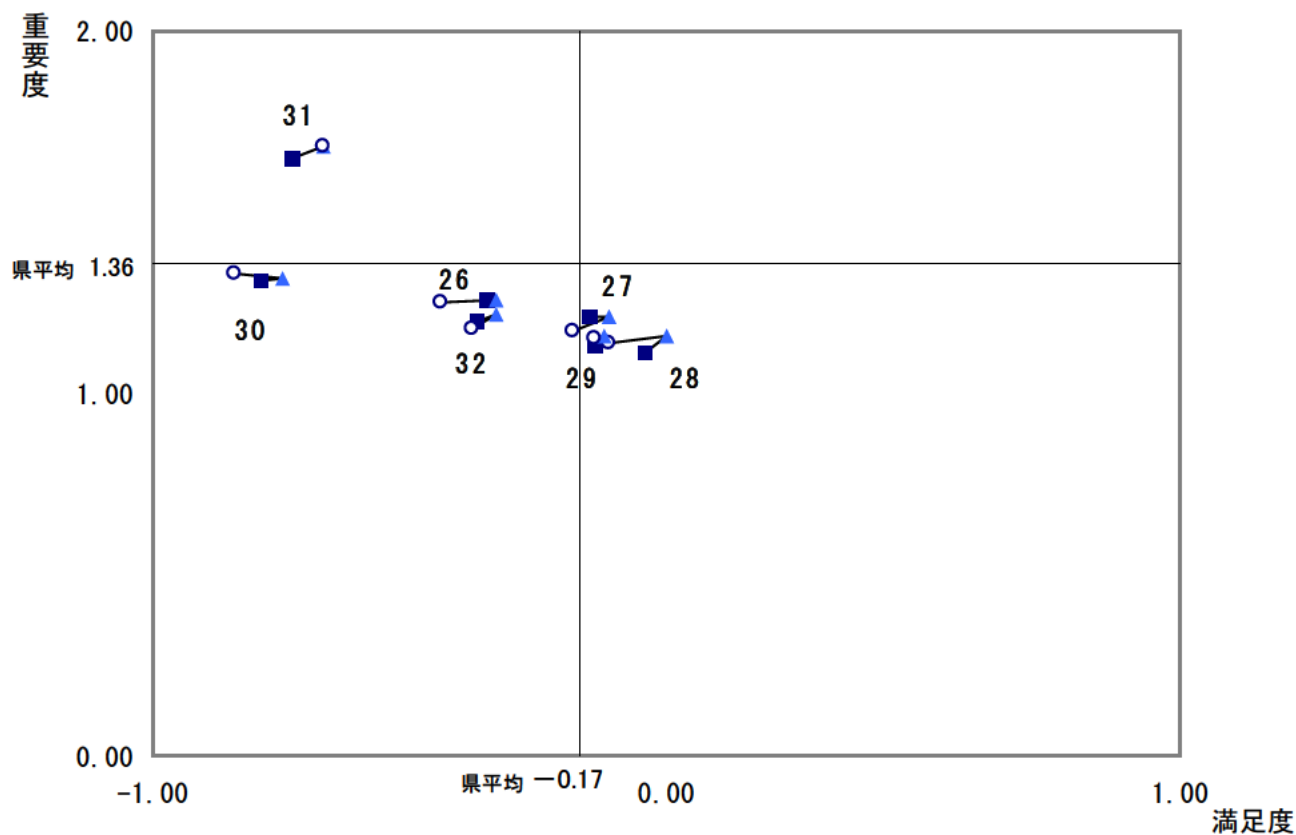
県行政の44項目の取組を「県民しあわせプラン」のめざすべき社会を実現するための五つの柱ごとにまとめ、各分野における施策の17年度～19年度の重要度、満足度のポイントの推移を図にプロットした。重要度が高く満足度が低い方向への移動（グラフの左上方向）は、住民からのニーズが高まっていることを表している。ただし、図中の点は、アンケートの結果によるポイントをプロットしたものであるため、多少の誤差が生じることに注意が必要である。また、図中の■は17年度における重要度、満足度のポイントを、▲は18年度における重要度、満足度のポイントを、○は19年度における重要度、満足度のポイントを図にプロットした点となっている。また、グラフ中の「県平均」は、19年度のものを示している。

①一人ひとりの思いを支える社会環境の創造と人づくり【元気（その1）】



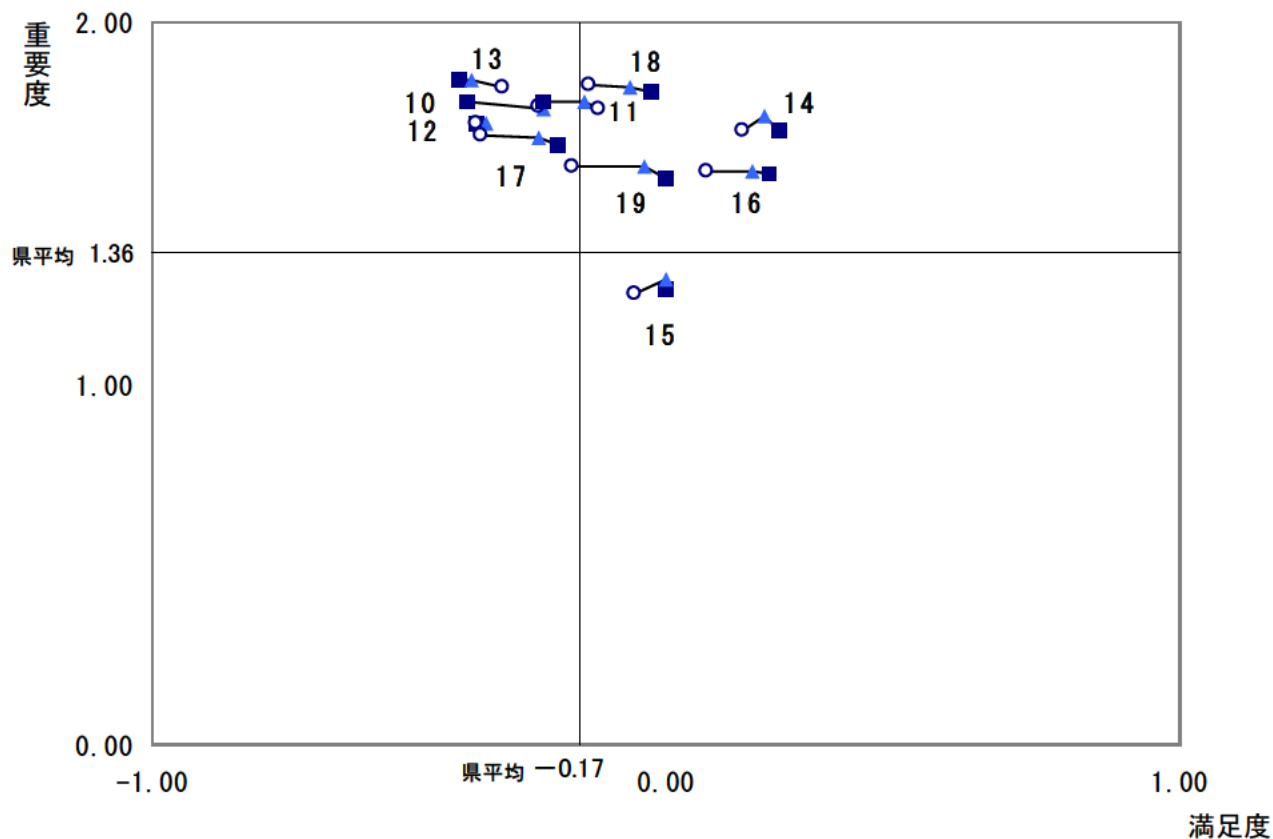
	重要度			満足度		
	H17	H18	H19	H17	H18	H19
1. 人権尊重	1.57	1.60	1.63	0.14	0.11	0.06
2. 生涯学習	1.28	1.30	1.25	0.18	0.21	0.25
3. 学校教育	1.73	1.75	1.79	-0.32	-0.28	-0.37
4. 青少年の健全育成	1.73	1.76	1.75	-0.47	-0.45	-0.48
7. 文化・芸術	0.87	0.88	0.79	-0.17	-0.15	-0.15
8. 歴史・文化遺産	1.06	1.09	1.02	0.19	0.19	0.17
9. スポーツ・レクリエーション	1.04	1.07	1.01	-0.06	-0.10	-0.12

②安心を支える雇用・就業環境づくりと元気な産業づくり〔元気（その2）〕



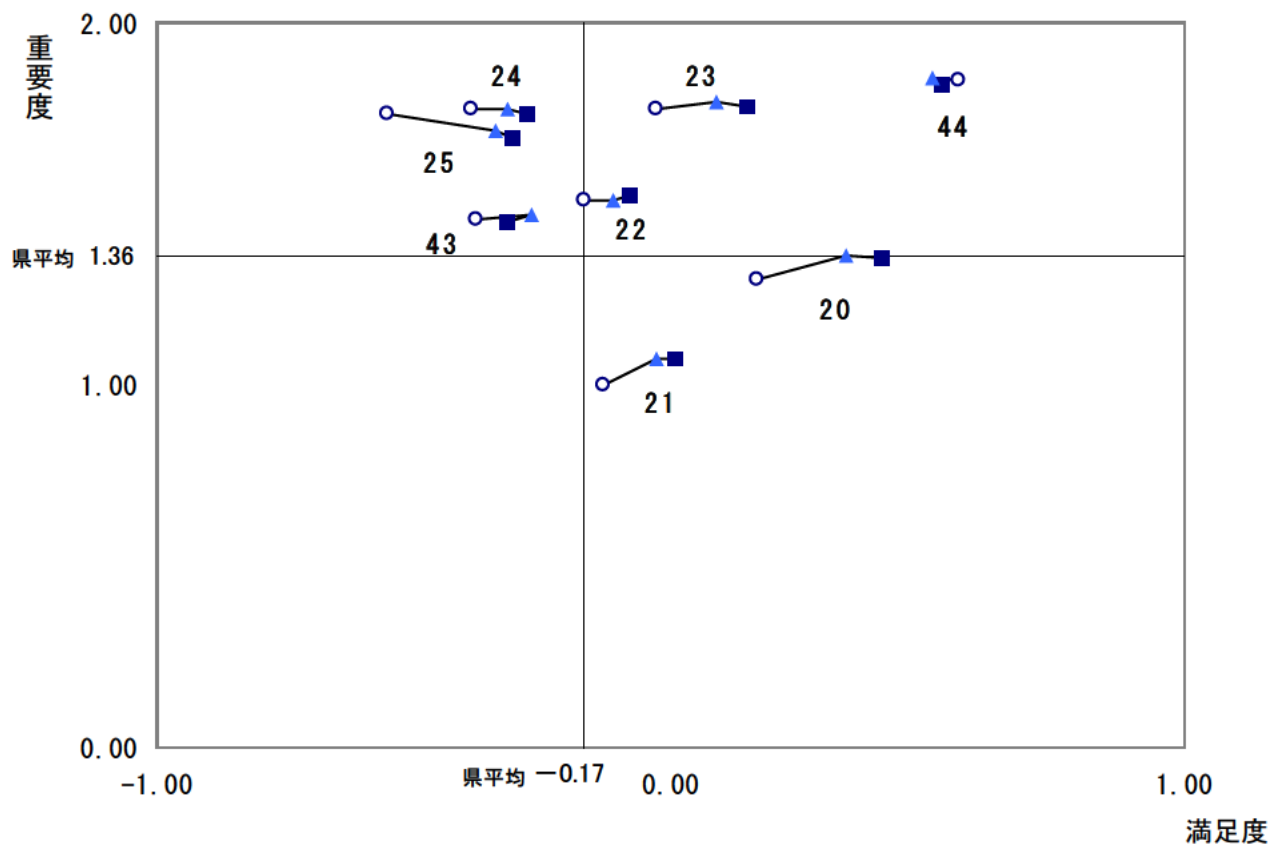
	重要度			満足度		
	H17	H18	H19	H17	H18	H19
26. 農林水産業の振興	1.26	1.26	1.25	-0.35	-0.33	-0.44
27. 産業振興	1.21	1.21	1.17	-0.15	-0.11	-0.18
28. 観光	1.11	1.16	1.14	-0.04	0.00	-0.11
29. 技術開発	1.13	1.16	1.15	-0.14	-0.12	-0.14
30. 地域商工業	1.31	1.32	1.33	-0.79	-0.75	-0.84
31. 雇用	1.65	1.68	1.68	-0.73	-0.67	-0.67
32. 職業能力開発	1.20	1.22	1.18	-0.37	-0.33	-0.38

③安全なくらしの確保と安心できる生活環境の創造〔くらしの安全安心（その1）〕



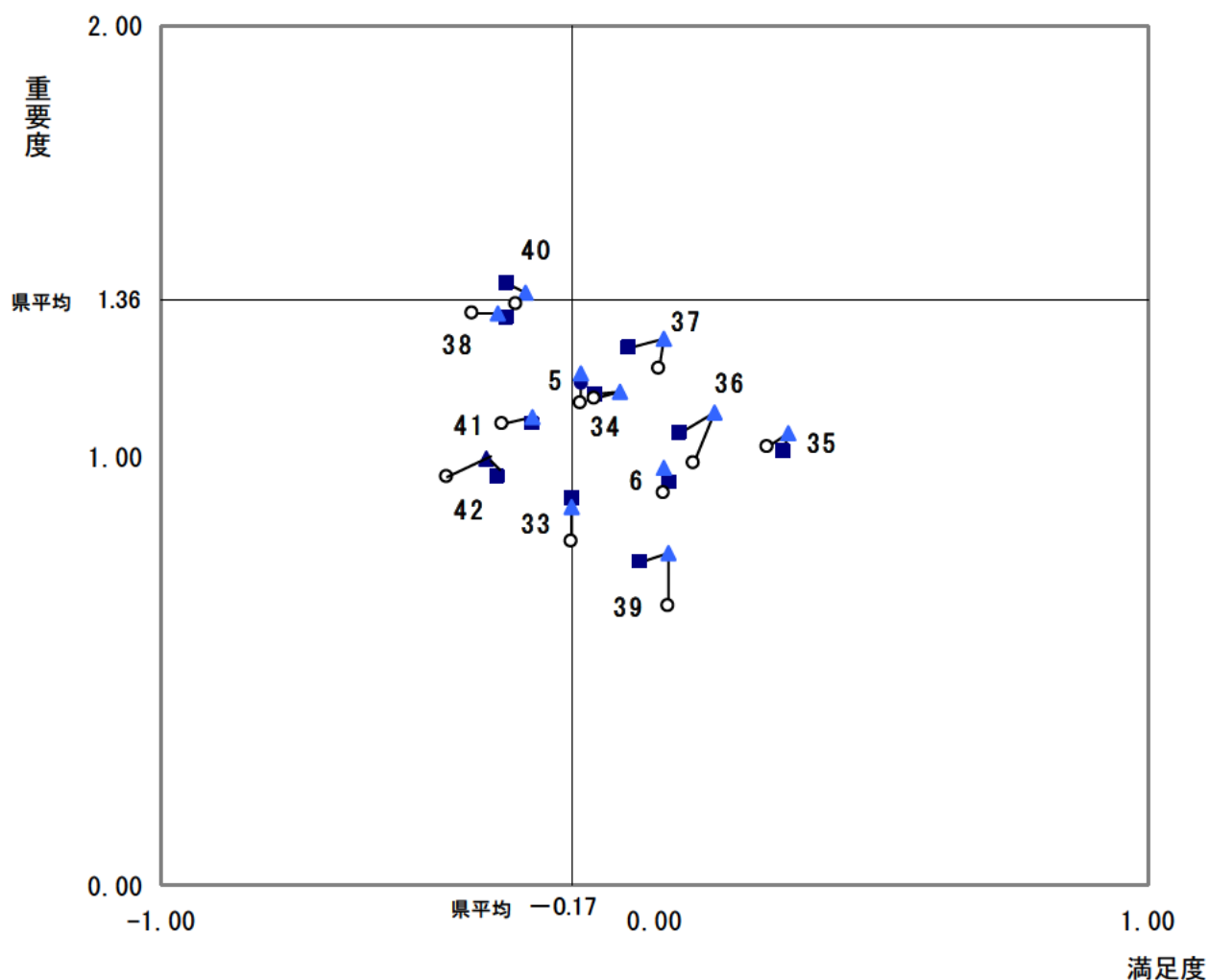
	重要度			満足度		
	H17	H18	H19	H17	H18	H19
10. 地域での防災の取組	1.78	1.76	1.77	-0.39	-0.24	-0.25
11. 災害対策	1.78	1.78	1.76	-0.24	-0.16	-0.13
12. 交通安全	1.72	1.72	1.72	-0.37	-0.35	-0.37
13. 防犯	1.84	1.84	1.82	-0.40	-0.38	-0.32
14. 食の安全	1.70	1.74	1.70	0.22	0.19	0.15
15. 高齢者、障害者の社会参加	1.26	1.29	1.25	0.00	0.00	-0.06
16. 保健予防体制	1.58	1.59	1.59	0.20	0.17	0.08
17. 子育て環境	1.66	1.68	1.69	-0.21	-0.25	-0.36
18. 医療体制	1.81	1.82	1.83	-0.03	-0.07	-0.15
19. 福祉サービス	1.57	1.60	1.60	0.00	-0.04	-0.18

④持続可能な循環型社会の創造〔くらしの安全安心（その2）〕



	重要度			満足度		
	H17	H18	H19	H17	H18	H19
20. 自然環境との共生	1.35	1.36	1.29	0.41	0.34	0.17
21. 希少な生物	1.07	1.07	1.00	0.01	-0.03	-0.13
22. ごみの減量	1.52	1.51	1.51	-0.08	-0.11	-0.17
23. きれいな空気	1.77	1.78	1.76	0.15	0.09	-0.03
24. 川や海の水質	1.75	1.76	1.76	-0.28	-0.32	-0.39
25. 地球温暖化防止	1.68	1.70	1.75	-0.31	-0.34	-0.55
43. エネルギー	1.45	1.47	1.46	-0.32	-0.27	-0.38
44. 飲料水の供給	1.83	1.85	1.84	0.53	0.51	0.56

⑤人と地域の絆づくりと魅力あふれるふるさと創造〔絆〕



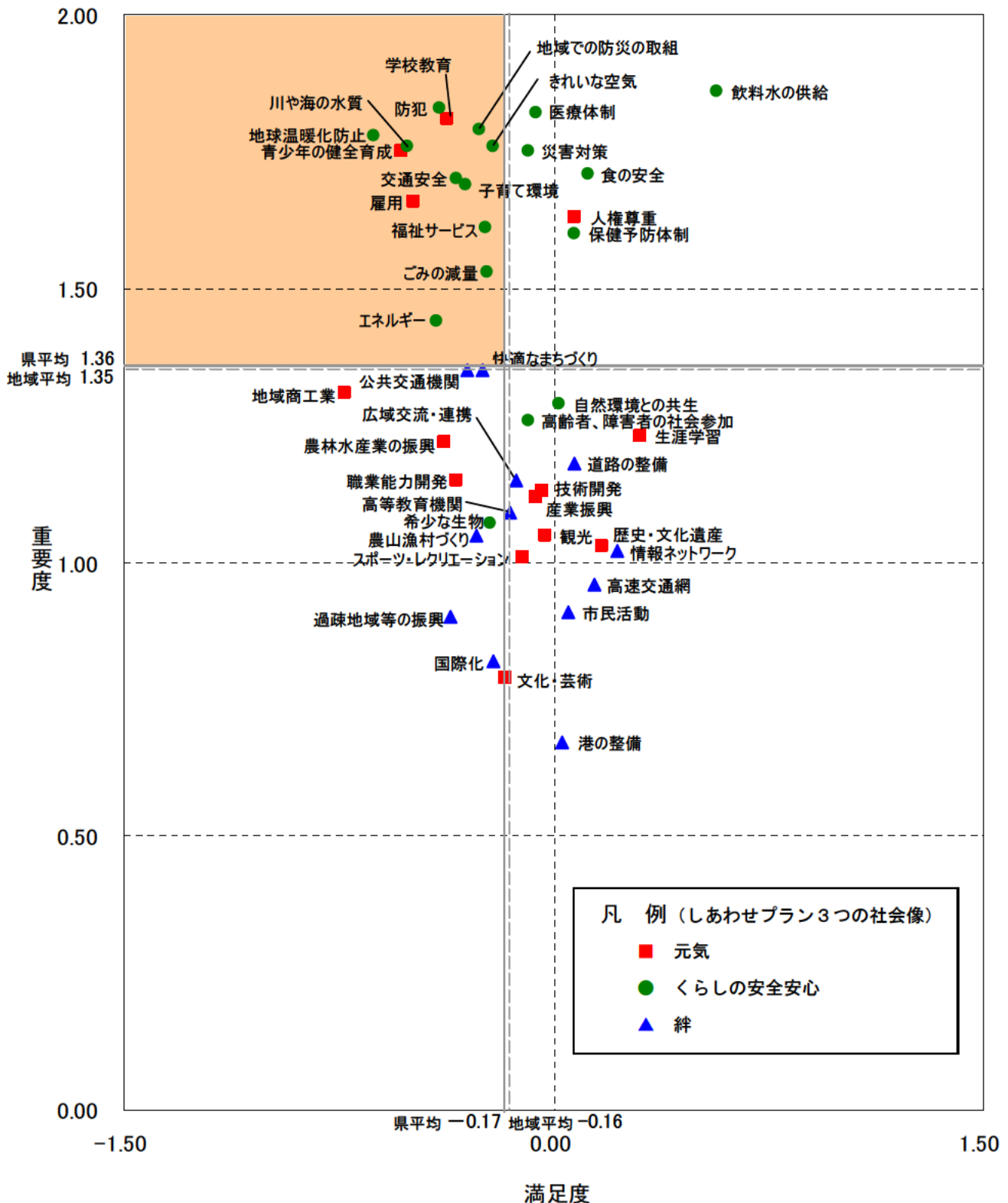
	重要度			満足度		
	H17	H18	H19	H17	H18	H19
5. 高等教育機関	1.17	1.19	1.12	-0.15	-0.15	-0.15
6. 市民活動	0.94	0.97	0.91	0.03	0.02	0.02
33. 国際化	0.90	0.88	0.80	-0.17	-0.17	-0.17
34. 広域交流・連携	1.14	1.15	1.13	-0.12	-0.07	-0.12
35. 情報ネットワーク	1.01	1.05	1.02	0.26	0.27	0.23
36. 高速交通網	1.05	1.10	0.98	0.05	0.12	0.08
37. 道路の整備	1.25	1.27	1.20	-0.05	0.02	0.01
38. 公共交通機関	1.32	1.33	1.33	-0.30	-0.32	-0.37
39. 港の整備	0.75	0.77	0.65	-0.03	0.03	0.03
40. 快適なまちづくり	1.40	1.38	1.35	-0.30	-0.26	-0.28
41. 農山漁村づくり	1.07	1.09	1.07	-0.25	-0.25	-0.31
42. 過疎地域等の振興	0.95	0.99	0.95	-0.32	-0.34	-0.42

(4) 重要度、満足度の地域特性

5つの地域について、それぞれ重要度、満足度の関係を図にプロットして地域的な特性をつかむ。県全体の場合と比較するため、県全体の場合の平均値ラインを実線「——」で、各地域の平均値ラインを点線「-----」で示す。

①北勢地域

図 重要度と満足度の関係（北勢）



県全体の場合と比較して、重要度、満足度の平均とも大きな違いはみられない。

Aゾーンに入る項目としては、「学校教育」「青少年の健全育成」「地域での防災の取組」「交通安全」「防犯」「子育て環境」「福祉サービス」「ごみの減量」「きれいな空気」「川や海の水質」「地球温暖化防止」「雇用」「エネルギー」の13項目があげられ、県全体ではAゾーンに入っていない「きれいな空気」が北勢地域ではAゾーンに入っている。

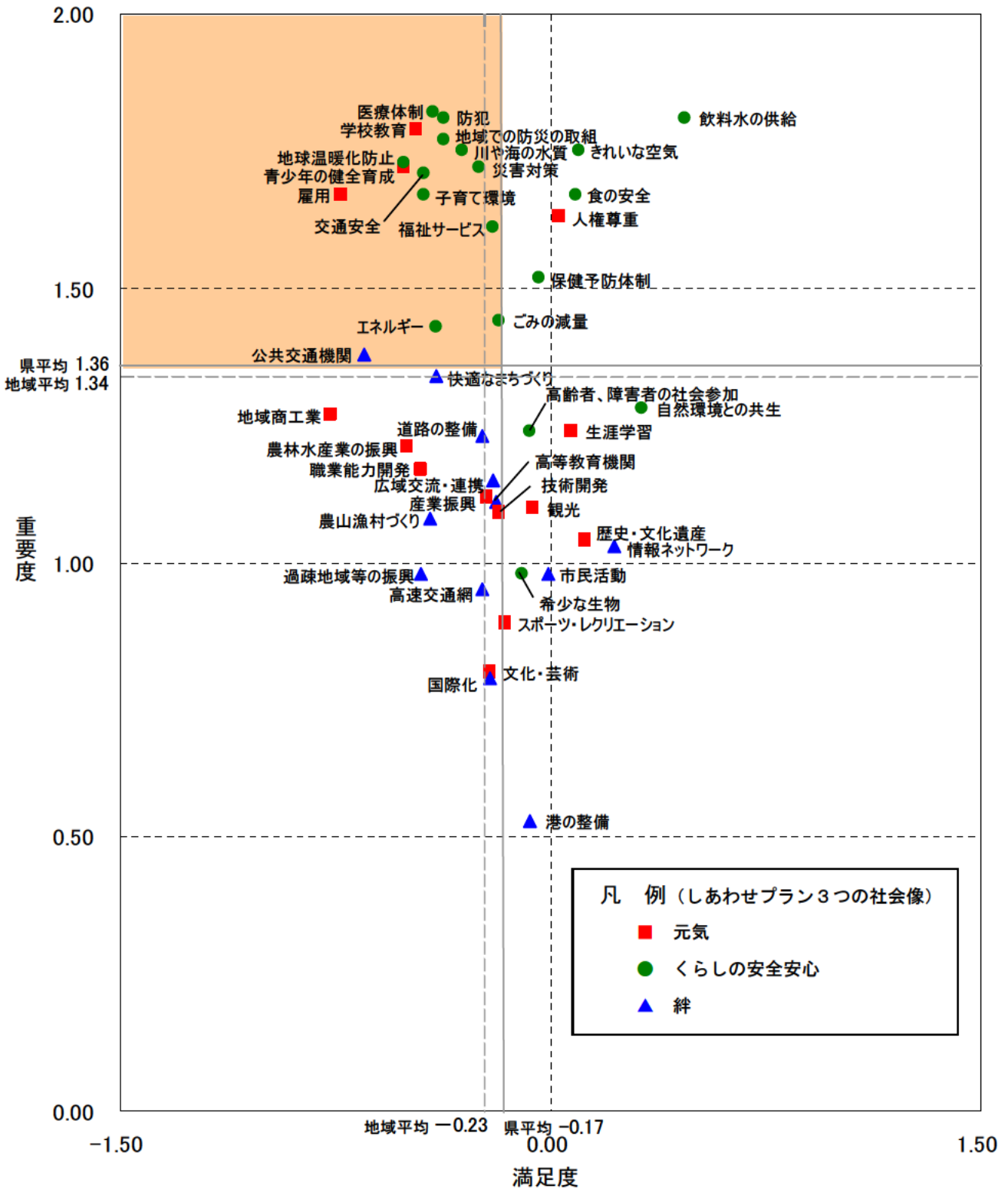
「県民しあわせプラン」のめざすべき三つの社会像別でみると、「くらしの安全安心」に関する項目では安全面で「地域での防災の取組」「交通安全」「防犯」「子育て環境」「福祉サービス」「ごみの減量」「きれいな空気」「川や海の水質」「地球温暖化防止」「エネルギー」があげられている。

「元気」に関する項目では「学校教育」「青少年の健全育成」の次世代を育む取組や「雇用」のニーズが高くなっている。また、「絆」に関する項目はあげられていない。

なお、県全体と比べて満足度が高い項目としては「産業振興」「技術開発」「地域商工業」「雇用」等があげられているのに対し、満足度が低い項目としては、「自然環境との共生」「きれいな空気」「川や海の水質」等があげられている。

②伊賀地域

図 重要度と満足度の関係（伊賀）



県全体の場合と比較して、重要度に大きな違いはみられないが、満足度の平均は低くなっている。

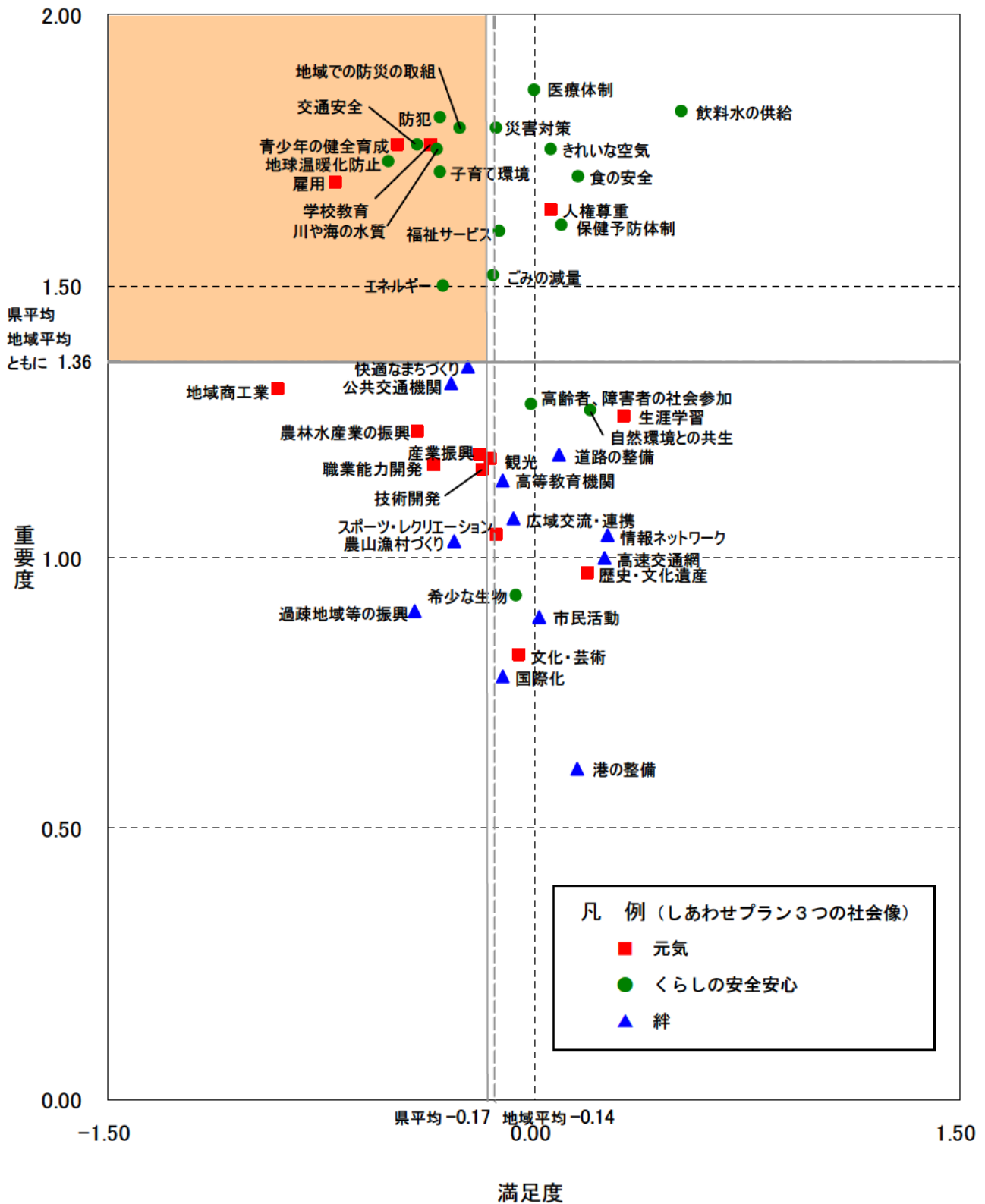
Aゾーンに入る項目としては、「学校教育」「青少年の健全育成」「地域での防災の取組」「災害対策」「交通安全」「防犯」「子育て環境」「医療体制」「福祉サービス」「ごみの減量」「川や海の水質」「地球温暖化防止」「雇用」「公共交通機関」「エネルギー」の15項目があげられ、県全体ではAゾーンに入っていない「災害対策」「医療体制」「公共交通機関」が伊賀地域ではAゾーンに入っている。

「県民しあわせプラン」のめざすべき三つの社会像別でみると、「くらしの安全安心」に関する項目では「地域での防災の取組」「災害対策」「交通安全」「防犯」「子育て環境」「医療体制」「福祉サービス」「ごみの減量」「川や海の水質」「地球温暖化防止」「エネルギー」があげられている。「元気」に関する項目では、「学校教育」「青少年の健全育成」の次世代を育む取組や「雇用」のニーズが高くなっている。また、「絆」に関する項目では「公共交通機関」があげられている。

また、県全体と比べて全体的に満足度の低い項目が多くなっている。なお、県全体と比べて満足度が高い項目としては、「自然環境との共生」「きれいな空気」等があげられているのに対し、満足度が低い項目としては、「医療体制」「高速交通網」「道路の整備」「公共交通機関」等があげられている。

③中南勢地域

図 重要度と満足度の関係（中南勢）



県全体の場合と比較して、重要度の平均に違いはみられないが、満足度の平均はやや高くなっている。

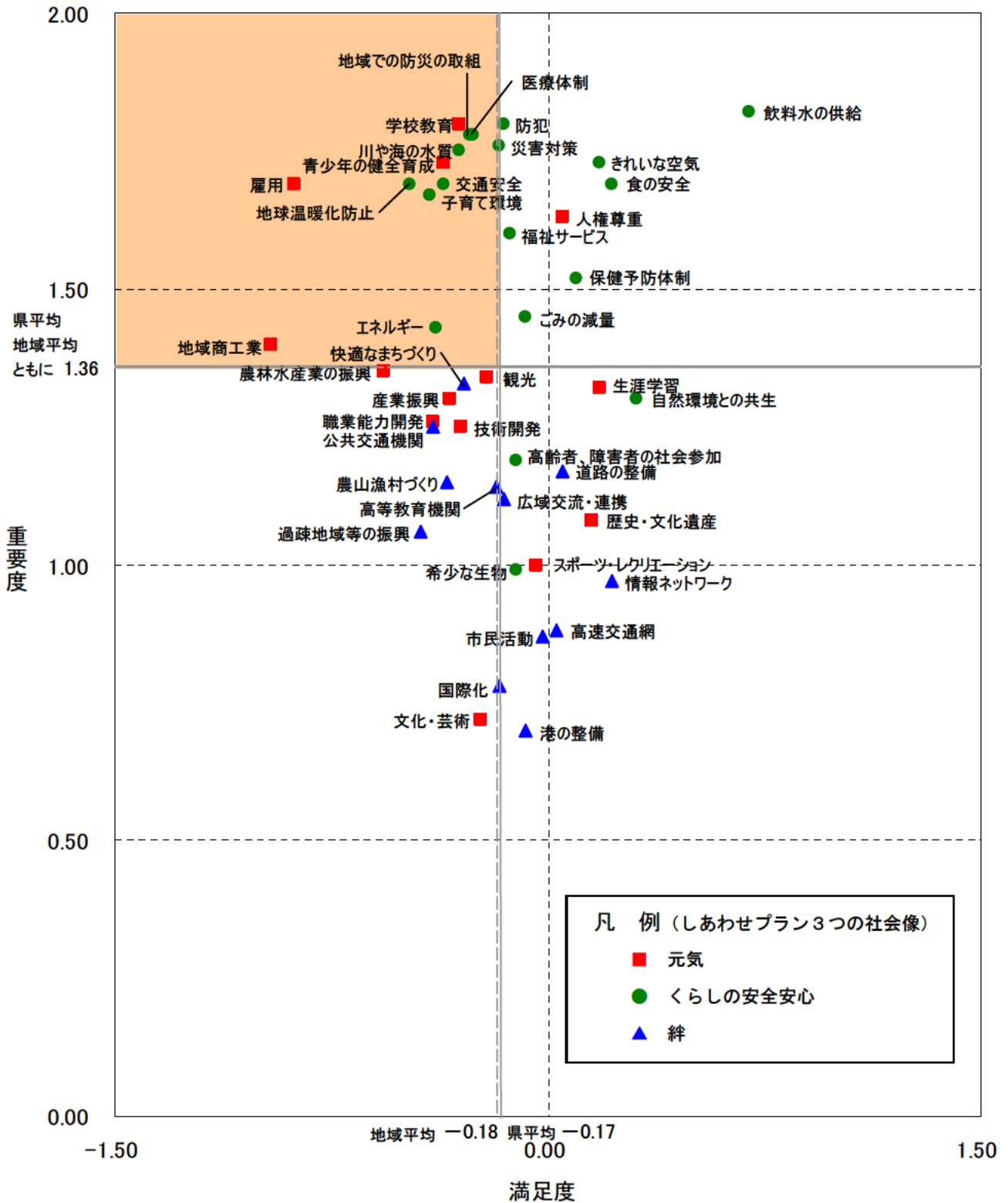
Aゾーンに入る項目としては、「学校教育」「青少年の健全育成」「地域での防災の取組」「交通安全」「防犯」「子育て環境」「川や海の水質」「地球温暖化防止」「雇用」「エネルギー」の10項目があげられ、県全体ではAゾーンに入っている「福祉サービス」や「ごみの減量」が中南勢地域ではAゾーンに入っていない。

「県民しあわせプラン」のめざすべき三つの社会像別でみると、「くらしの安全安心」に関する項目では「地域での防災の取組」「交通安全」「子育て環境」「防犯」「川や海の水質」「地球温暖化防止」「エネルギー」があげられている。「元気」に関する項目では、「学校教育」「青少年の健全育成」の次世代を育む取組や、「雇用」のニーズが高くなっている。また、「絆」に関する項目はあげられていない。

なお、県全体と比べて満足度が高い項目としては、「文化・芸術」「医療体制」「高速交通網」「港の整備」等があげられている。

④伊勢志摩地域

図 重要度と満足度の関係（伊勢志摩）



県全体の場合と比較して、重要度、満足度の平均ともに大きな違いはみられない。

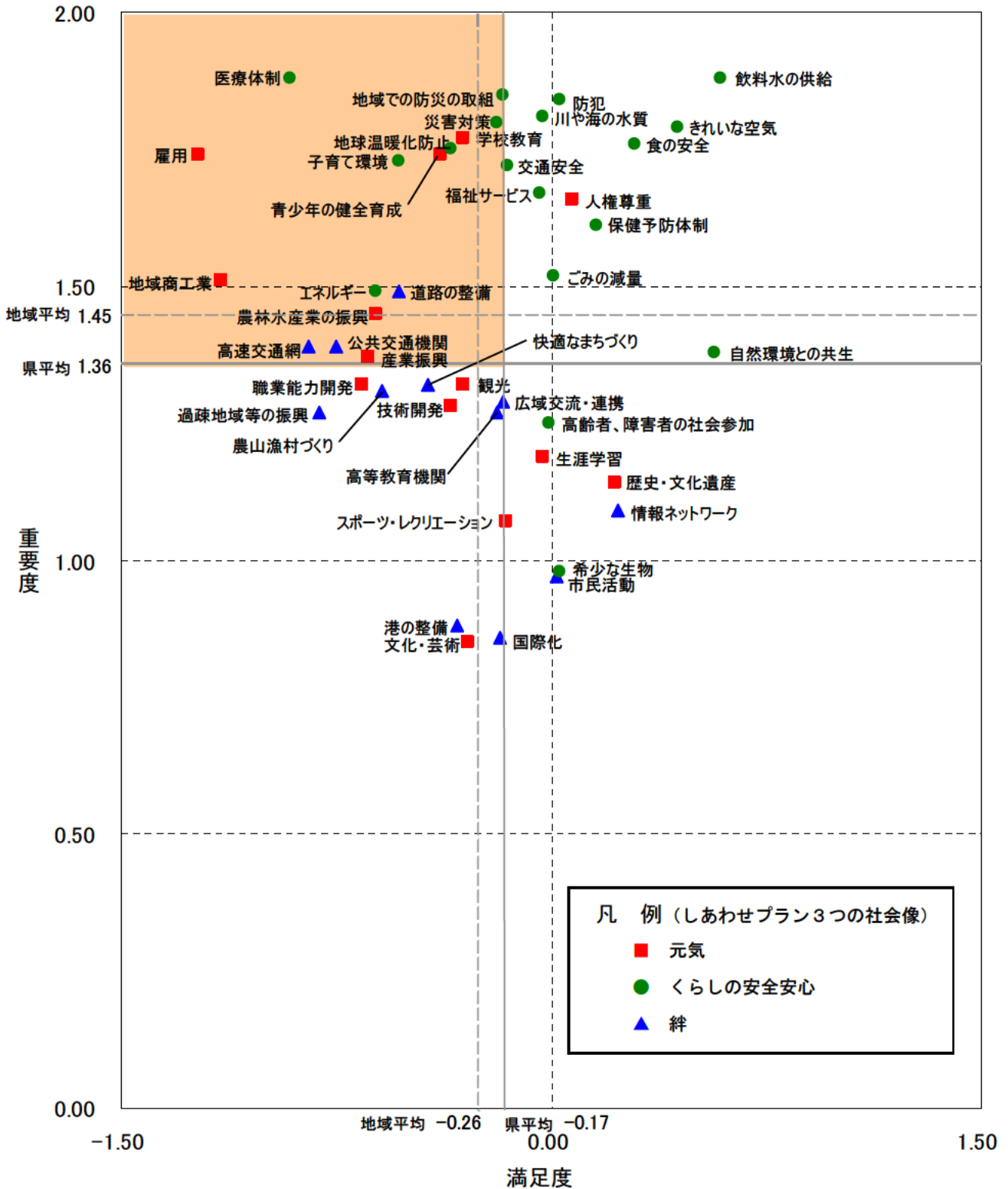
Aゾーンに入る項目としては、「学校教育」「青少年の健全育成」「地域での防災の取組」「災害対策」「交通安全」「子育て環境」「医療体制」「川や海の水質」「地球温暖化防止」「地域商工業」「雇用」「エネルギー」の12項目があげられ、県全体ではAゾーンに入っていない「災害対策」「医療体制」「地域商工業」が伊勢志摩地域ではAゾーンに入っているのに対し、県全体ではAゾーンに入っている「防犯」「福祉サービス」「ごみの減量」が伊勢志摩地域ではAゾーンに入っていない。

「県民しあわせプラン」のめざすべき三つの社会像別でみると、「くらしの安全安心」に関する項目では「地域での防災の取組」「災害対策」「交通安全」「子育て環境」「医療体制」「川や海の水質」「地球温暖化防止」「エネルギー」があげられている。「元気」に関する項目では、「学校教育」「青少年の健全育成」の次世代を育む取組や、「地域商工業」「雇用」があげられている。また、「絆」に関する項目はあげられていない。

なお、県全体と比べて満足度が高い項目としては、「防犯」「きれいな空気」等があげられているのに対し、満足度が低い項目としては「産業振興」「技術開発」「雇用」等の産業面があげられている。

⑤東紀州地域

図 重要度と満足度の関係（東紀州）



県全体の場合と比較して、重要度、満足度の平均はともに低くなっている。また、全体的に満足度の分布幅が大きく、項目によって満足度の差が大きい。

Aゾーンに入る項目としては、「学校教育」「青少年の健全育成」「地域での防災の取組」「災害対策」「子育て環境」「医療体制」「地球温暖化防止」「農林水産業の振興」「産業振興」「地域商工業」「雇用」「高速交通網」「道路の整備」「公共交通機関」「エネルギー」の15項目があげられ、県全体ではAゾーンに入っていない「災害対策」「医療体制」「農林水産業の振興」「産業振興」「地域商工業」「高速交通網」「道路の整備」「公共交通機関」の8項目が東紀州地域ではAゾーンに入っているのに対し、県全体ではAゾーンに入っている「交通安全」「防犯」「福祉サービス」「ごみの減量」「川や海の水質」は東紀州地域ではAゾーンに入っていない。

「県民しあわせプラン」のめざすべき三つの社会像別でみると、「くらしの安全安心」に関する項目では「地域での防災の取組」「災害対策」「子育て環境」「医療体制」「地球温暖化防止」「農林水産業の振興」「産業振興」「地域商工業」「雇用」「エネルギー」があげられている。「元気」に関する項目では、「学校教育」「青少年の健全育成」の次世代を育む取組のニーズが高いことがうかがえる。「絆」に関する項目では、「高速交通網」「道路の整備」「公共交通機関」があげられている。

なお、県全体と比べて満足度が低い項目のうち、「医療体制」「産業振興」「地域商工業」「雇用」「高速交通網」「道路の整備」「公共交通機関」「港の整備」「過疎地域等の振興」等では県全体に比べ0.3ポイント以上の開きがみられ、中でも「高速交通網」は、0.93ポイントの開きがある。また、県全体と比べて満足度が高い項目としては、「防犯」「自然環境との共生」「きれいな空気」「川や海の水質」等があげられている。

<地域特性の総括>

県南部の東紀州地域では「重要度、満足度プロット図」をみると、他の地域と比べて重要度が高く満足度が低い(=ニーズが高い)左上方に位置している傾向にあることが特徴といえ、中でも「医療体制」や「高速交通網」「道路の整備」等、交通に関する項目が他地域に比べて左上方に位置している。また、「農林水産業の振興」「産業振興」等の産業に関する項目の不満足も高くなっている。一方、他地域でAゾーンの項目としてあげられている「交通安全」「川や海の水質」がAゾーンから外れている。

「医療体制」は、全域をとおして重要度の高い項目となっているが、伊賀、伊勢志摩、東紀州地域では不満足が高く、Aゾーンの項目としてあげられている。また、「きれいな空気」は北勢地域、「公共交通機関」は伊賀地域、東紀州地域、「地域商工業」は伊勢志摩地域、東紀州地域で不満足が高く、Aゾーンの項目としてあげられている。

表 地域別にみた、特に県民ニーズの高い項目（Aゾーンにあげられている項目）

県全体	北勢地域	伊賀地域	中南勢地域	伊勢志摩地域	東紀州地域
03. 学校教育	03. 学校教育	03. 学校教育	03. 学校教育	03. 学校教育	03. 学校教育
04. 青少年の健全育成	04. 青少年の健全育成	04. 青少年の健全育成	04. 青少年の健全育成	04. 青少年の健全育成	04. 青少年の健全育成
10. 地域での防災の取組	10. 地域での防災の取組	10. 地域での防災の取組	10. 地域での防災の取組	10. 地域での防災の取組	10. 地域での防災の取組
		11. 災害対策		11. 災害対策	11. 災害対策
12. 交通安全	12. 交通安全	12. 交通安全	12. 交通安全	12. 交通安全	
13. 防犯	13. 防犯	13. 防犯	13. 防犯		
17. 子育て環境	17. 子育て環境	17. 子育て環境	17. 子育て環境	17. 子育て環境	17. 子育て環境
		18. 医療体制		18. 医療体制	18. 医療体制
19. 福祉サービス	19. 福祉サービス	19. 福祉サービス			
22. ごみの減量	22. ごみの減量	22. ごみの減量			
	23. きれいな空気				
24. 川や海の水質	24. 川や海の水質	24. 川や海の水質	24. 川や海の水質	24. 川や海の水質	
25. 地球温暖化防止	25. 地球温暖化防止	25. 地球温暖化防止	25. 地球温暖化防止	25. 地球温暖化防止	25. 地球温暖化防止
					26. 農林水産業の振興
					27. 産業振興
				30. 地域商工業	30. 地域商工業
31. 雇用	31. 雇用	31. 雇用	31. 雇用	31. 雇用	31. 雇用
					36. 高速交通網
					37. 道路の整備
		38. 公共交通機関			38. 公共交通機関
43. エネルギー	43. エネルギー	43. エネルギー	43. エネルギー	43. エネルギー	43. エネルギー

網掛けの項目は、県全体ではAゾーンにないが、地域段階でAゾーンにあげられている項目

5 . 各項目の地域特性

前章では、地域ごとにその特徴を把握したが、本章では、項目の視点から地域の特性を明らかにする。44項目について5つの地域の標準偏差を算出して、どれくらいのばらつきがみられるかを分析することで、項目の地域特性を明らかにする。

(1) 重要度における各項目の地域特性

「高速交通網」「過疎地域等の振興」「道路の整備」「港の整備」「観光」等の標準偏差が高く、ばらつきがみられる。(図参照)また、上位5項目について各地域の重要度の内訳を下表に示す。「高速交通網」「過疎地域等の振興」「道路の整備」「港の整備」の重要度は、東紀州地域で高くなっている。また、「観光」は伊勢志摩地域及び東紀州地域で高くなっている。

一方、標準偏差が低くばらつきの少ない項目は「快適なまちづくり」「人権尊重」「青少年の健全育成」「防犯」「学校教育」等で、これらの項目の重要度は、地域でそれほど差がみられないといえる。

図 重要度の標準偏差(地域)

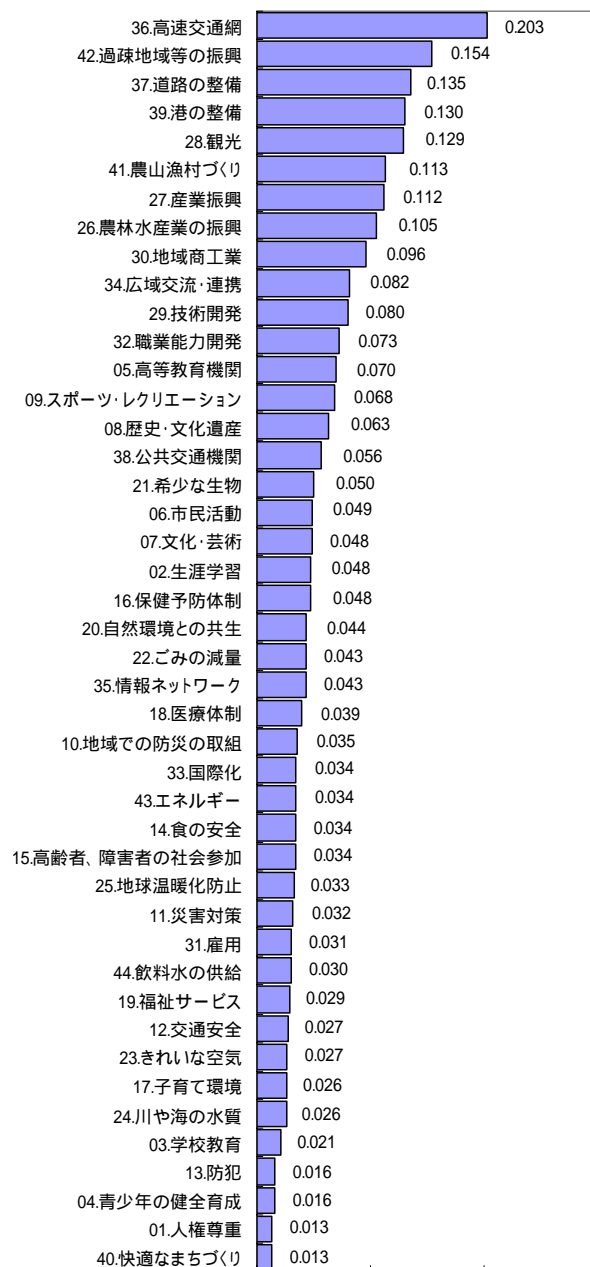


表 各地域の重要度と標準偏差

順位	項目	重要度						標準偏差
		全体	北勢	伊賀	中南勢	伊勢志摩	東紀州	
1位	36. 高速交通網	0.98	0.96	0.95	1.00	0.88	1.39	0.203
2位	42. 過疎地域等の振興	0.95	0.90	0.98	0.90	1.06	1.27	0.154
3位	37. 道路の整備	1.20	1.18	1.23	1.19	1.17	1.49	0.135
4位	39. 港の整備	0.65	0.67	0.53	0.61	0.70	0.88	0.130
5位	28. 観光	1.14	1.05	1.10	1.18	1.34	1.32	0.129

(2) 満足度における各項目の地域特性

「高速交通網」の標準偏差が最も高く、次いで「医療体制」の標準偏差も高くなっている。また、上位5項目について各地域の満足度の内訳を下表に示す。東紀州地域では、上位5項目のうち「きれいな空気」を除いた項目の満足度が他地域と比べて低くなっている。

一方、標準偏差が低くばらつきの少ない項目は「人権尊重」「情報ネットワーク」「市民活動」「高等教育機関」「歴史・文化遺産」等であり、これらの項目の満足度は、地域でそれほど差がみられないといえる。

図 満足度の標準偏差(地域)

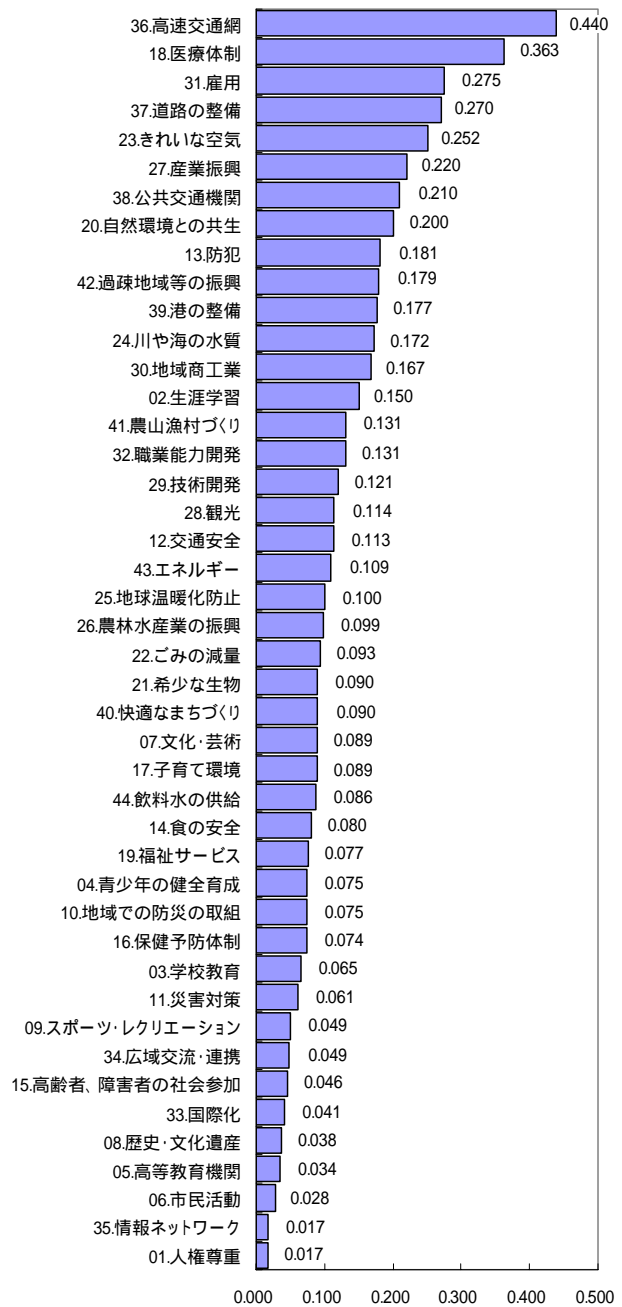


表 各地域の満足度と標準偏差

順位	項目	満足度						標準偏差
		全体	北勢	伊賀	中南勢	伊勢志摩	東紀州	
1位	36.高速交通網	0.08	0.14	-0.24	0.25	0.03	-0.85	0.440
2位	18.医療体制	-0.15	-0.06	-0.41	0.00	-0.27	-0.91	0.363
3位	31.雇用	-0.67	-0.49	-0.73	-0.70	-0.88	-1.23	0.275
4位	37.道路の整備	0.01	0.07	-0.24	0.09	0.05	-0.53	0.270
5位	23.きれいな空気	-0.03	-0.26	0.10	0.06	0.18	0.44	0.252

6. 県行政の取組に対する認知意識について

(1) 認知している人のみの重要度、満足度の結果

県行政の取組を認知している人のみの重要度、満足度の結果は以下のようになった。

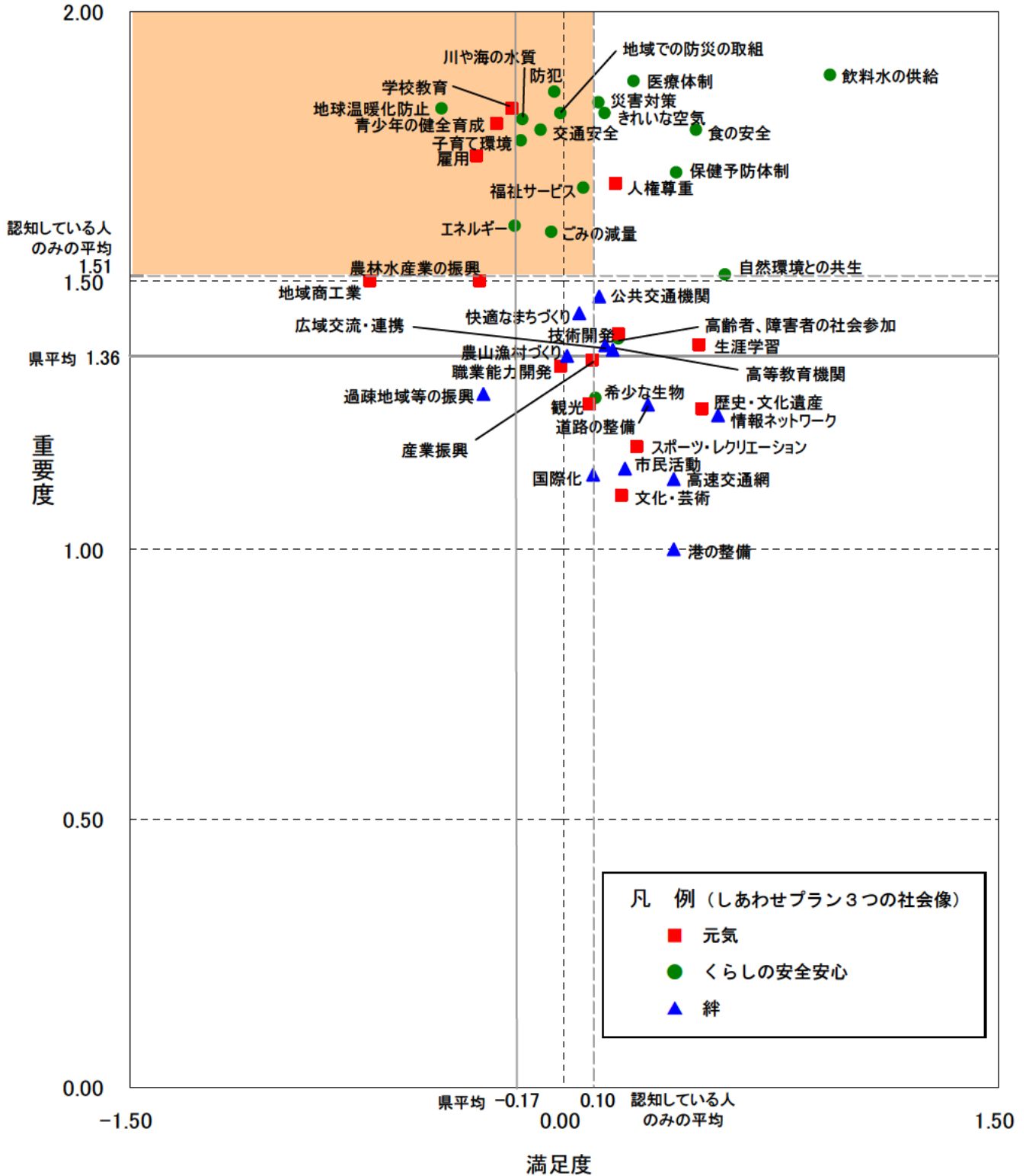
重要度は「04. 青少年の健全育成」を除く全ての項目について、回答者全員を対象とした場合より高く、満足度は全ての項目について回答者全員を対象とした場合より高くなっている。

表 認知している人のみの重要度、満足度

順位	項目	重要度	項目	満足度
1位	44. 飲料水の供給	1.88	44. 飲料水の供給	0.92
2位	18. 医療体制	1.87	20. 自然環境との共生	0.56
3位	13. 防犯	1.85	35. 情報ネットワーク	0.53
4位	11. 災害対策	1.83	08. 歴史・文化遺産	0.48
5位	03. 学校教育	1.82	02. 生涯学習	0.47
6位	25. 地球温暖化防止	1.82	14. 食の安全	0.46
7位	10. 地域での防災の取組	1.81	16. 保健予防体制	0.39
8位	23. きれいな空気	1.81	36. 高速交通網	0.38
9位	24. 川や海の水質	1.80	39. 港の整備	0.38
10位	04. 青少年の健全育成	1.79	37. 道路の整備	0.29
11位	12. 交通安全	1.78	09. スポーツ・レクリエーション	0.25
12位	14. 食の安全	1.78	18. 医療体制	0.24
13位	17. 子育て環境	1.76	06. 市民活動	0.21
14位	31. 雇用	1.73	07. 文化・芸術	0.20
15位	16. 保健予防体制	1.70	15. 高齢者、障害者の社会参加	0.19
16位	01. 人権尊重	1.68	29. 技術開発	0.19
17位	19. 福祉サービス	1.67	01. 人権尊重	0.18
18位	43. エネルギー	1.60	05. 高等教育機関	0.17
19位	22. ごみの減量	1.59	23. きれいな空気	0.14
20位	20. 自然環境との共生	1.51	34. 広域交流・連携	0.14
21位	26. 農林水産業の振興	1.50	11. 災害対策	0.12
22位	30. 地域商工業	1.50	38. 公共交通機関	0.12
23位	38. 公共交通機関	1.47	21. 希少な生物	0.11
24位	40. 快適なまちづくり	1.44	27. 産業振興	0.10
25位	29. 技術開発	1.40	33. 国際化	0.10
26位	15. 高齢者、障害者の社会参加	1.39	28. 観光	0.09
27位	02. 生涯学習	1.38	19. 福祉サービス	0.07
28位	34. 広域交流・連携	1.38	40. 快適なまちづくり	0.05
29位	05. 高等教育機関	1.37	41. 農山漁村づくり	0.01
30位	41. 農山漁村づくり	1.36	10. 地域での防災の取組	-0.01
31位	27. 産業振興	1.35	32. 職業能力開発	-0.01
32位	32. 職業能力開発	1.34	13. 防犯	-0.03
33位	42. 過疎地域等の振興	1.29	22. ごみの減量	-0.04
34位	21. 希少な生物	1.28	12. 交通安全	-0.08
35位	28. 観光	1.27	24. 川や海の水質	-0.14
36位	37. 道路の整備	1.27	17. 子育て環境	-0.15
37位	08. 歴史・文化遺産	1.26	43. エネルギー	-0.17
38位	35. 情報ネットワーク	1.25	03. 学校教育	-0.18
39位	09. スポーツ・レクリエーション	1.19	04. 青少年の健全育成	-0.23
40位	06. 市民活動	1.15	42. 過疎地域等の振興	-0.28
41位	33. 国際化	1.14	26. 農林水産業の振興	-0.29
42位	36. 高速交通網	1.13	31. 雇用	-0.30
43位	07. 文化・芸術	1.10	25. 地球温暖化防止	-0.42
44位	39. 港の整備	1.00	30. 地域商工業	-0.67
	重要度平均	1.51	満足度平均	0.10

(2) 認知している人のみの重要度、満足度プロット図

図 認知している人のみの重要度と満足度の関係 (平成 19 年度)



(3) 認知していない人のみの重要度、満足度の結果

県行政の取組を認知していない人(「あまり知らない」+「知らない」)のみの重要度、満足度の結果は以下のようになった。

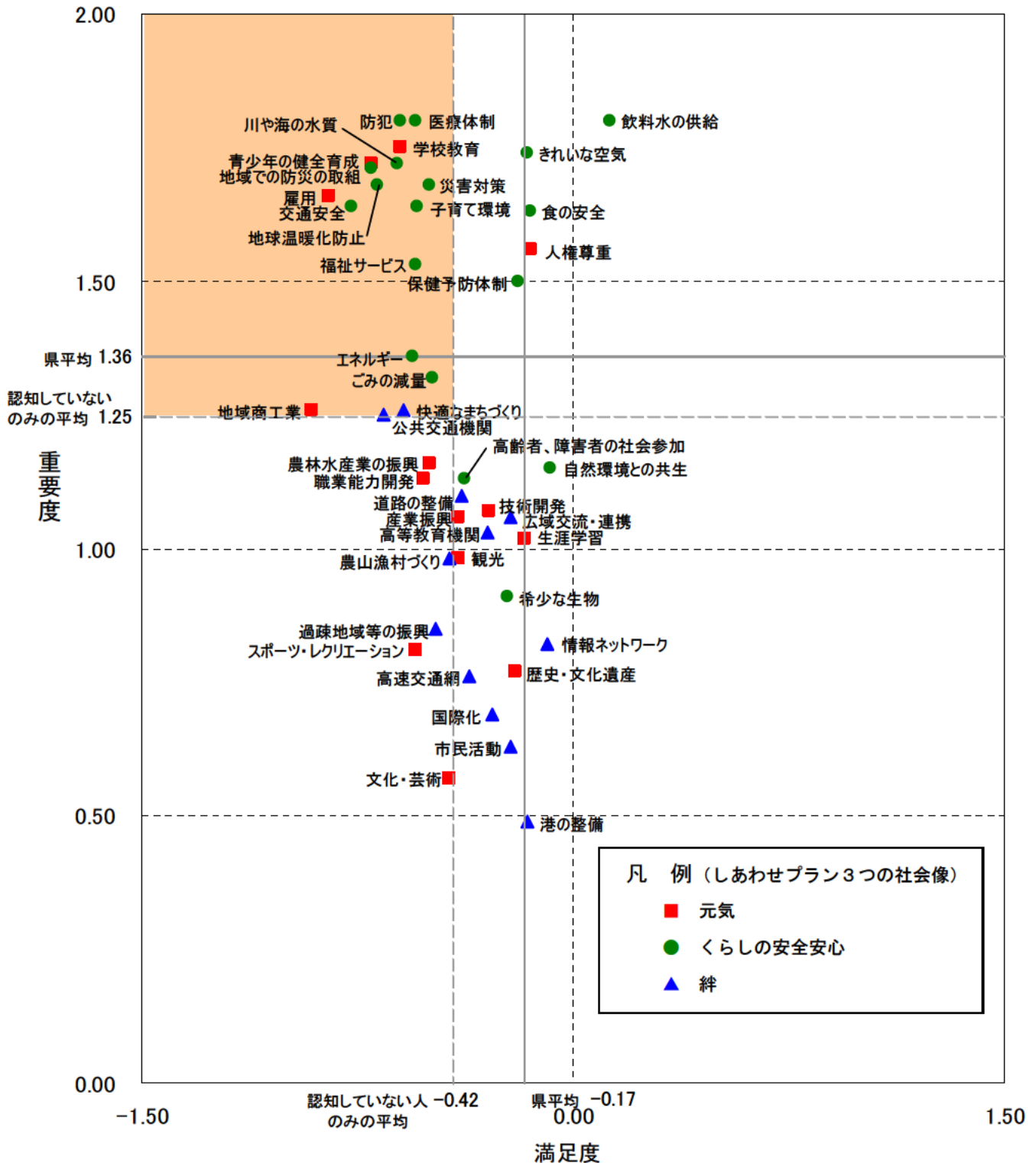
重要度、満足度ともに、認知している人のみの場合と比べて低くなっている。

表 認知していない人のみの重要度、満足度

順位	項目	重要度	項目	満足度
1位	13.防犯	1.80	44.飲料水の供給	0.13
2位	18.医療体制	1.80	20.自然環境との共生	-0.08
3位	44.飲料水の供給	1.80	35.情報ネットワーク	-0.09
4位	03.学校教育	1.75	01.人権尊重	-0.15
5位	23.きれいな空気	1.74	14.食の安全	-0.15
6位	04.青少年の健全育成	1.72	23.きれいな空気	-0.16
7位	24.川や海の水質	1.72	39.港の整備	-0.16
8位	10.地域での防災の取組	1.71	02.生涯学習	-0.17
9位	11.災害対策	1.68	16.保健予防体制	-0.19
10位	25.地球温暖化防止	1.68	08.歴史・文化遺産	-0.20
11位	31.雇用	1.66	06.市民活動	-0.22
12位	12.交通安全	1.64	34.広域交流・連携	-0.22
13位	17.子育て環境	1.64	21.希少な生物	-0.23
14位	14.食の安全	1.63	33.国際化	-0.28
15位	01.人権尊重	1.56	29.技術開発	-0.29
16位	19.福祉サービス	1.53	05.高等教育機関	-0.30
17位	16.保健予防体制	1.50	36.高速交通網	-0.36
18位	43.エネルギー	1.36	15.高齢者、障害者の社会参加	-0.38
19位	22.ごみの減量	1.32	37.道路の整備	-0.39
20位	30.地域商工業	1.26	27.産業振興	-0.40
21位	40.快適なまちづくり	1.26	28.観光	-0.40
22位	38.公共交通機関	1.25	07.文化・芸術	-0.43
23位	26.農林水産業の振興	1.16	41.農山漁村づくり	-0.43
24位	20.自然環境との共生	1.15	42.過疎地域等の振興	-0.48
25位	15.高齢者、障害者の社会参加	1.13	22.ごみの減量	-0.49
26位	32.職業能力開発	1.13	11.災害対策	-0.50
27位	37.道路の整備	1.10	26.農林水産業の振興	-0.50
28位	29.技術開発	1.07	32.職業能力開発	-0.52
29位	27.産業振興	1.06	17.子育て環境	-0.54
30位	34.広域交流・連携	1.06	09.スポーツ・レクリエーション	-0.55
31位	05.高等教育機関	1.03	18.医療体制	-0.55
32位	02.生涯学習	1.02	19.福祉サービス	-0.55
33位	28.観光	0.98	43.エネルギー	-0.56
34位	41.農山漁村づくり	0.98	40.快適なまちづくり	-0.59
35位	21.希少な生物	0.91	03.学校教育	-0.60
36位	42.過疎地域等の振興	0.85	13.防犯	-0.60
37位	35.情報ネットワーク	0.82	24.川や海の水質	-0.61
38位	09.スポーツ・レクリエーション	0.81	38.公共交通機関	-0.66
39位	08.歴史・文化遺産	0.77	25.地球温暖化防止	-0.68
40位	36.高速交通網	0.76	04.青少年の健全育成	-0.70
41位	33.国際化	0.69	10.地域での防災の取組	-0.70
42位	06.市民活動	0.63	12.交通安全	-0.77
43位	07.文化・芸術	0.57	31.雇用	-0.85
44位	39.港の整備	0.49	30.地域商工業	-0.91
	重要度平均	1.25	満足度平均	-0.42

(4) 認知していない人のみの重要度、満足度プロット図

図 認知していない人のみの重要度と満足度の関係（平成19年度）



認知している人のみを対象とした場合の重要度、満足度は全体的に拡がり小さく、回答者全員を対象にした場合と比較して右上方に移行している。それは、満足度の平均から見ても明らかであり、重要度、満足度ともに全てを対象とした場合より高くなっている。

また、認知している人のみを対象とした場合の重要度は全ての施策が1.0を上回っており、施策の取組を知っているからこそ重要性を訴える傾向がみられ、満足度についても施策の取組を知っているからこそ満足している傾向がみられる。

認知している人と認知していない人とを比較すると、44項目全ての重要度、満足度は、認知している人のみを対象とした場合が認知していない人のみを対象とした場合を上回っており、施策の取組を知っているほど重要性を訴える傾向や、施策の取組を知っているほど満足している傾向がみられる。そのため、施策の重要性を理解し、満足してもらうためにはさらなる啓発活動が必要といえる。

例えば重要度について、認知している人としていない人との差が大きいものとして「文化・芸術」「市民活動」「港の整備」「歴史・文化遺産」「国際化」等があげられる。このうち「文化・芸術」(38.8%)、「歴史・文化遺産」(47.5%)、「市民活動」(49.4%)は認知意識が約4～5割を占めているものの、「港の整備」(27.1%)、「国際化」(22.6%)等は認知意識が3割未満であり、県の取組自体の認知度が低い項目である。したがって、これらの取組を今後積極的にPRすることにより、施策や事業の必要性について県民の理解の高まりが期待できる項目といえる。

また、満足度についても、認知している人としていない人との差が大きいものとして「スポーツ・レクリエーション」「医療体制」「飲料水の供給」「公共交通機関」「高速交通網」等があげられるが、特に「公共交通機関」はおよそ3人に1人の割合(35.0%)にしか取組が認知されていない状況に置かれている。これらの項目は、取組内容を知ってもらうことで満足度があがる可能性を持つ施策であるといえる。

表 認知している人と認知していない人とで差が大きい項目

重要度				満足度			
項目	認知している人のみの重要度	認知していない人のみの重要度	差	項目	認知している人のみの満足度	認知していない人のみの満足度	差
07.文化・芸術	1.10	0.57	0.53	09.スポーツ・レクリエーション	0.25	-0.55	0.80
06.市民活動	1.15	0.63	0.52	18.医療体制	0.24	-0.55	0.79
39.港の整備	1.00	0.49	0.51	44.飲料水の供給	0.92	0.13	0.79
08.歴史・文化遺産	1.26	0.77	0.49	38.公共交通機関	0.12	-0.66	0.78
33.国際化	1.14	0.69	0.45	36.高速交通網	0.38	-0.36	0.74

一方、認知している人としていない人の重要度の差が0.1未満の項目として「防犯」「学校教育」「青少年の健全育成」「医療体制」「きれいな空気」「雇用」「飲料水の供給」「川や海の水質」があげられる。これらはいずれも重要度が高い項目であり、認知の如何に関わらず重要と感じている人が多いことがうかがえる。

表 認知している人と認知していない人とで重要度の差が小さい項目

項目	認知している人のみの重要度	認知していない人のみの重要度	差	重要度順位
13.防犯	1.85	1.80	0.05	1位
03.学校教育	1.82	1.75	0.07	8位
04.青少年の健全育成	1.79	1.72	0.07	9位
18.医療体制	1.87	1.80	0.07	3位
23.きれいな空気	1.81	1.74	0.07	5位
31.雇用	1.73	1.66	0.07	13位
44.飲料水の供給	1.88	1.80	0.08	2位
24.川や海の水質	1.80	1.72	0.08	6位